



体育館



体育館



柔道場



剣道場



ピロティ



食堂

体育館クーラー10台設置

コロナ禍によりマスク着用が当たり前の風潮の中、母校の体育館にクーラー10台。柔剣道場には5台ずつ設置された。そして、ピロティ・食堂にはデジタルサイネージ（電子看板）が設置された。

同窓会総会案内

今年はコロナ禍のため、母校文化祭開催も詳細検討中ではありますが、同窓会総会は中止の予定です。ここから劇的に改善すれば別ですが、今の段階では難しいと考えています。詳細については、学校の対応に合わせて同窓会公式HPでお知らせいたします。

目次

- ◆ 同窓会総会案内 1 P
- ◆ 会長挨拶・校長挨拶 2 P
- ◆ ☆キラリ卒業生☆
「突撃インタビュー」..... 3 P
- ◆ 部活動今昔
- ◆ 「柔道部」..... 4 P
- ◆ 「ボランティア部」..... 5 P
- ◆ 部活動の思い出 6 P
- ◆ 卒業生の皆様へ 7 P
- ◆ 「がんばれー卒業生」
すーさん 8 P
- ◆ 役員紹介 10 P
- ◆ studio in the lil 9 P



「会長挨拶」

同窓会会長

なかじ ひふみ
中路 一二三

金光大阪高等学校同窓会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

日頃からのご理解とご協力まことにありがとうございます。

昨年からの新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の延長により、学校関係者の方々も苦勞されていると思います。私たち、同窓会の活動も、総会、学校行事参加、メンバーと話し合うことさえ自粛しなければならず、時間だけが過ぎて行つてしまいました。

昨年、同窓会と在校生徒とのつながりの第二歩にと「夏用マスク」を配布しましたが、続けることができなかった事を残念に思います。

しかしこれからも同窓会としての活動は続いていきます。この時代を乗り越えまた一歩ず

つでも皆様の協力のもと活動していきます。

コロナウイルスの影響でこの様な後ろ向きな考えや先行きに不安を感じる事が少なからずあると思いますが

この試練を受け入れ、金光大阪高等学校に関わつていたことを将来語り合える様、過ごしていきましょう。

私が会長に就任し3年目をむかえ同窓会としての将来的な立ち位置、どうすれば役に立つ組織になるかを考えることがあります

まずはサポートしていただける同窓会会員を増やすために行動していくと思います。

私は二期の卒業生で今年55歳になります。

社会人としても少しずつ気持ちに余裕が出来る時期に入つて行く方も増えて、

今までお世話になった事を思い返せるのではと考えています。

私自身も母校や恩師への恩返しができればという思いで同窓会活動を行っていますし、同じ思いを持つ卒業生が増えていくでしょう。その時に同窓会の存在を知つていただくための仕組みづくりをしていきたいです。

昨年、この場で書かせていただいた同窓会が、「物、心、両方の支えになるよう同窓生全員

が母校のために、支援できる環境をつくつて行く」

引き続き、スローガンとして掲げていきたいと思っています。

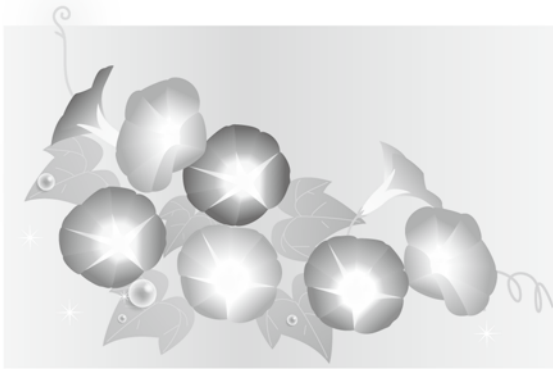
昨年からの具体化させたい項目ですが話し合いも出来ていませんので継続させて頂きま

す。

1、同窓会会員のためのスペース（同窓会室）を学校内につくる

2、定期的な同窓会主催のイベントを開催する

しばらくはコロナウイルスの動きと世の中の動きに合わせての活動になりますが同窓会運営に、ご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



「ご挨拶」

金光大阪中学校・高等学校

校長 にしむら まさのぶ
西村 公延

残暑の候 同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝ご活躍のこととお慶び申し上げます。

いつも母校の教育活動に対し、力強いご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

昨年度、この「光輝」紙面で、「この難局を共に乗り越えていきましよう」と申し上げました。

あれから一年、やがて落ち着くだろうと思つていたコロナ禍は、

何度も緊急事態宣言やまん延防止等重点措置を繰り返し、未だ収束をみない状況が続いています。皆様も、職場、学校、そ

して家庭においてもご苦勞が多い事と存じます。

本校でも、感染症防止措置が出されるたびに様々な制約が課され、苦悩の連続ではありましたが、生徒達の笑顔を取り

戻したい、その一心で、過去に囚われない工夫をしながら、一時間でも長く、一つでもたくさん、できることを探して取り組んで参りました。

例えば、平成十四年度・高校二十期生から始まつた七月のカナダ修学旅行。昨年度は一旦三学期に延期、渡航先をオーストラリアに変更したものの、感染拡大が収まらず、海外修学旅行は困難と判断し、旅行先を感染対策が万全な東京ディズニーリゾートに変更して三月に実施しました。感染リスクを避けるために日程も二泊三日に短縮、ディズニーランドとディズニーシーを一日ずつ二日間フルに満喫する内容にしました。入場者数が五千人に制限されており、「並ばずにどんどんアトラクションを楽しめる『夢の国』への旅行になりました。

また、体育大会は、昨年度は一斉休校直後という事もあり開催できないまま二学期に突入しましたが、九月の文化祭に併せて実施。今年は緊急事態宣言の解除を待つて、二週間遅れの体育大会を行いました。六月も末になると、今度はコロナ以外に熱中症の危険も伴い、プログラムを縮小せざるを得ませんでした。生徒達の努力

を無にしないために、集団演技は全学年で実施しました。男子のエッサッサでは、夏の日差しが照りつけ、人工芝特有の熱さを避けるため、初めて(?)靴下をはいての演技となりました。例年とは違う形であっても、暑さと熱さに耐えながら、コロナ禍に負けじと逞しく演技する姿を、大勢の高校三年生の保護者が胸を熱くして見守って下さいました。残念ながら、観客は高三の保護者のみとさせて頂きましたが、後日、ホームページに他学年の演技の動画をアップし、我が子の様子を自宅で見られるように致しました。

例年であれば、体育大会や文化祭には多くの卒業生が駆けつけ、後輩を激励してくれていますが、コロナ禍で来校を遠慮頂いています。その分、本校のホームページを充実させていますので、またご覧いただければ幸いです。

同窓生の皆さんと共に築いてきた金光大阪の伝統は、コロナの波で変化はしつつも、皆で大切に受け継いでいます。これからも心豊かな生徒の育成を目指して、日々の教育を充実していく所存です。今後も、同窓会会員の皆様の本校教育への温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

キラリ

卒業生

突撃インタビュー

金光生同士で結婚され、子どもさんも親子2代に亘って金光生という現在同窓会役員もしてくださっている3期生の佐伯朱美さん。今回突撃インタビューさせて頂きました。

(聞き手 丹羽)

—佐伯さん自身の入学動機は?—

高校受験にあたりすでに私立の専願受験は決定していたところ、金光大阪(当時は金光第一)は新しく私たちが3期生ということ、当時は珍しく共学であったこと。

両親、担任の先生に私は金光大阪受ける!と他の学校を勧められたのを断固拒否(笑)新しく人気もあった学校で競争率も高かったのを記憶しています。

—子どもさんの入学動機は?—

我が家は主人、娘2人と家族全員金光大阪の卒業生なのですが今回は次女のことを書きます。

動機は姉が在籍していること、私たち夫婦も卒業生であること。

第一に長女が楽しく学校生活を送っていることも魅力だったと思います。

それに当時大阪府の私立高校授業料無償化に力を入れていただいていたことも親としてはとても魅力でした。

—学校とのつながり—

親子で言えることですがみんな金光大阪でよかったと言っています。卒業して



愛犬と



愛犬と

からも母校のことは気になる存在であり、娘たちは将来自分の子供にも金光大阪に行ってほしいと言うほど笑)

—それぞれの学校生活を教えてください—

私(親)は3年間の学校生活はとても楽しく、充実したものでした。勉強はともかく笑)友達との出会いが大きなものになっています。

卒業して30数年になりますすが頻繁には会うことはないけどインスタ、ラインなどで繋がっていることに安心します。娘は3年間クッキング部に所属し、いろんな料理をはじめスイーツなどにも力を入れて頑張っていました。今でもお菓子作りはよくしています。

友達関係も良く今でも交流あります。

私の幼馴染で金光大阪卒業生の方がいるんですがお互い結婚して子供が同じ学年で住まいも近所小学校からずっと同じ学校。親娘で幼馴染。

同じクラスにはなったことなかったんですけど高校ではじめて同じクラスになって親娘で大喜びしました。今でも近所さんなのでたまに出会ってお互いの近況報告したりしています。



次女の麻耶さんと

部活動 今昔

今回は、柔道部とボランティア部を取材しました。

柔道部
今
柔道部顧問
戸田 大地朗先生

柔道部は現在14名の部員で活動しています。素人から経験者まで幅広い層の生徒達が、それぞれの目標を持って日々稽古に励んでいます。全国大会出場を目指す部員もいれば、自身の成長を重視している部員等、目標は違えど一人一人が「強くなりたい」という気持ちを胸に切磋琢磨しています。

昨年度はコロナウイルスの影響で公式戦が少なく、11月に行われた新人戦のみでした。その試合では3年生の坂井拓実君が60kg級でベスト8になりました。同じく3年生の大西輝君と二人の生徒が大阪府の強化指定選手となり、マネージャーの石川優芽さんと3人で部員達を引っ張ってくれました。そして、

令和3年6月12・13日に行われた全国大会大阪府予選3人制の部では、2年ぶり2回目の優勝を飾ることができました。また、個人戦では3年生の坂井拓実君が60kg級で第3位、無段の部で1年生の石田修君が第2位になりました。また、坂井拓実君は全日本ジュニア大阪予選にも出場しました。



全日本ジュニア大阪府予選の様子



仲良しな新1年生です！



令和3年度 全国大会大阪府予選
団体3人制の部 優勝
(左)石田修・大西輝・坂井拓実・城野海翔



令和3年度 全国大会大阪府予選 個人の部
(左)ー60kg級 第3位 坂井拓実(3年9組)
(真ん中)無段の部 第2位 石田 修(1年5組)

柔道部
昔
4期生
篠崎 信一氏
(元柔道部員)

私が入部した頃の柔道部は、練習にあっても、規律の面でも、とにかく厳しかった印象があります。練習は、始めにグラウンドのランニングをしていたと思いますが、柔道部はなぜか裸足で走っていました。「大きく回れ、声を出せ」の指示もあり、開校して4年目のグラウンドの端の方には特に石が多く、走る辛さよりも、石を踏む痛さとの戦いでした。ずっと下を向いて走っていたのを覚えています。恒例でありました学校での夏合宿も厳しいものでした。朝から晩までの練習、しかも当時は水分を摂ることが難しかったので、トイレに行くふりをして水を飲んだ記憶があります。期間を決めての朝練は、始発に乗って行きました。

規律面では書けないことも多いのですが、ある事柄が起きた時には「連帯責任」という言葉を教えて頂きました。個人の責任では無く、全体の責任と言うことで、普段2分刈りの髪の毛を、全員が5厘刈りに明日までに刈ってくるということも何度ありました。

しかし、顧問の先生も同様に5厘刈りにされていたのは驚きました。

試合では、全国へ行くチャンスはありませんでしたが、年を追うごとに部としての実力は上がっていったように思います。

30年以上前の話ですが、懐かしく思い出しました。



前列左から2番目が篠崎氏
4番目が星野先生
5番目が田中先生

ボランティア部
今ボランティア部顧問
木村公一先生
きむら こういち

「誰かに強制されたり義務的にやるものでなく、自分の考えで、自分がやってみたいと思うことをすること。」これがボランティア活動の基本です。とはいえ必ず相手があることです。相手のことを考え、しっかりとコミュニケーションをとる、独善的にしないようにすることが大切です。

ボランティア活動で学校の枠を超えて社会とかわり、改めて人や社会や自分について考えることで、多くの生徒が成長してきました。そんな成長した姿に喜びを感じつつ活動を続けてきました。



限られています。毎年行われていた夏休み中のボランティア活動体験プログラムも昨年は中止。今年も大幅に制限され、中止した自治体の方が多いという状況です。

現在、部員は高校二年生が二人。思うように活動できない状況は続いています。ボランティア活動の基本精神は受け継いでいってほしいと願っています。

ボランティア部
昔7期生
小澤直美氏
おさわ なおみ

皆さん、こんにちは。金光第一（現、金光大阪）高等学校、第七期生の小澤と申します。

私は在学中、ボランティアクラブやつなみに在籍していました。元々私の姉も金光第一（現、金光大阪）高等学校に通っており、ボランティアクラブがあるよと聞いており、なんとなく興味を持ち、ボランティアクラブに入部したのがきっかけです。

ボランティアクラブやつなみの由来は、金光教の教紋（シンボルマーク）として掲げている八ツ波が由来であり、ボランティアクラブの創設者である故近藤和明先生が、そこから命名されたとお聞きしております。【八】は末広がり

の数字であり、ボランティアクラブが末長く活動出来るよう名付けられたのかも知れません。

在学中は部員はだいたい十人ほどの小さなクラブでした。私が一年生の時は、三年生の先輩がとても熱心に、ボランティアとは何をするべきか、またどうあるべきか。障害のある無し関係なく人として対

等に接する事が大切だと言うことを、とても熱心に話して下さいました。

先輩が卒業されてからの活動は、クラブがある火曜と木曜に部室に集まり部員達と和気あいあいとのんびり過ごすという感じでした。真面目にボランティアについて話し合うことは少なくなりましたが、三年生の先輩の置き土産として先輩が関わっておられた【ありんこ】と言う障害者の方のグループがあり、【ありんこ】の方が運動会の催しをされる時、出場される方のお宅へ迎えに行き会場まで椅子を押ししたり、一緒に競技に参加するなどお手伝いしていました。

学内ではあまり活動していませんでしたが、当時大阪府が夏休みに開催する高校生ボランティア講座（ボランティアについての講座や車椅子乗車体験、正しい車椅子の押し方、アイマスクをつけて歩行体験など）に泊まりがけで参加したり、富田林市にある障害者の方が集団生活されている施設へ合宿に行くなど活動していました。様々な障害のある方と接していくうちに、卒業された三年生の先輩の言われていた事が実感できました。

今は活動も部員の数も違うと思いますが、ボランティアクラブやつなみで体験したこととはとても大切な懐かしい思い出です。



前列右から1番目が近藤和明先生
右から2番目が小澤さん

やつなみ



部活動の思い出

浦田真一
うらた しんいち

今年の三月に金光大阪高等学校、勤続三十九年を無事終え、定年退職させていただきまし。今年からは、非常勤講師として、授業を中心に引き続き金光でお世話になっています。

今回の「光輝」に是非、金光での思い出を何か書いてほしいと、ご依頼をいただき、授業のこと、生徒指導、修学旅行やスキー訓練などの行事、文化祭・体育大会など。そこで今回は、関わらせていただいた部活動を中心に書かせていただきます。

開校当初は、まず、硬式テニス部の女子の顧問を担当してもらいました。テニスは大学時代に友達と楽しむ程度で、特に専門的にやったということではありませんでしたが、金光に勤めるまでに、正雀にあった「摂津アメリカンテニススクール」に三年間通いました。

また、金光では大学で本格的に大学テニスを経験されていた、佐々木修先生、理科の井谷順一先生に色々とテニスの技術やその奥深さを教えていただき、部員とともに成長させていただきました。

テニス部では、日々の部活動はもちろんです。やはり、夏の合宿が忘れられない思い出です。京都の亀岡、滋賀の余呉湖、兵庫県の八幡高原など、三泊四日程の日程でしたが、今思えば、なぜ、あそこまでハードト

レーニングができたのか。そしてよくそれによくついてきてくれた部員達、女子部員のある学年は、今でも忘れたころに電話があり、飲み会をしています。

そこでの話、「先生、私達あんなにきつい練習をしていたのに、どうして弱かったんでしょうね？」(笑)これは、正に指導者(私)の問題でありました。男女一緒に合宿をすることもあったのですが、合宿はスケジュールの時間は絶対的なもの。ある時、夕飯の時間が一〇分遅れてしまった。食後、すぐにその反省会「なぜ、一〇分遅れたのか」と佐々木先生、色々事情を聴くと旅館のほう準備が遅れたとのこと、そこで佐々木先生、「二〇分を五分に縮める努力はしたのか？」(同沈黙)

「人生(世の中)は自分が正しいと思っても、通らない矛盾もある。」

「矛盾に耐える心を培え。ランニング〇周」

男子はともかく、女子は練習量の割には弱いチームでしたが、私も含めて、テニス以外の様々なことを学び、また、一生の友達を得るなど、何にも代えがたい素晴らしい時間であったように思います。

次に、体力面での衰えから、若い先生にテニス部顧問を交代していただき、「アコースティックギター同好会」発足。

わが校の吹奏楽部は歴史も実績もある強い部活動であります。が、もう少し緩くて、楽しく誰にでも続けられる部活動を作るという趣旨から、「アコースティックギター同好会」が作られました。私は中学時代から、アコギを弾いていたので、一応立候補、顧問と相成りました。先ず、同好会の前に、我が校の文化祭では、文化祭二日目の午前中に、「有志バンド」という出し物がありました。

界にある「ベースオントップ」という「PA屋さん」から半日、十万円を支払い、それを有志のバンドのメンバーで折半、レンタルし開催します。それも私が音楽好きということで担当させてもらいました。ハッキリ言ってあれは「カオス」でした。けつこう厳しかったその当時の校則の中、文化祭の「有志バンド」出し物は、生徒が公に大騒ぎできるイベントなのです。その当時、「ブルーハーツ」の「リンダリンダ」が流行っており、座って鑑賞せよとお達しは出ており、コーンを置

いて立ち入り禁止スペースも作るのですが、もう、お分かりますね。

話が逸れていますが、そういうこともあって、「同好会」を作って、文化祭の参加者は、それに限るといふルールもそのあたりから作られたような気がします。

さて、「アコースティックギター同好会」、平成二十八年には、「軽音楽同好会」と会名を改め、現在に至ります。



軽音楽

今は、機材も充実し、二年前からは、文化祭第二日目の「高槻現代劇場」にも参加、現在コロナ禍で中止されていますが、「島本町音楽フェス」や地元の「五領夏祭り」まで参加し、地域密着で頑張っています。私も、主顧問は降りましたが、顧問の末席に名前を連ねています。

音楽で活躍している卒業生は、同窓会三〇周年記念式典に出てもらった四期生の「ツキシ」こと築山伸治君、佐賀でブ

ルーズしている七期生の佐野勝君、そして、同窓会員もまだ、知らない人がいるかと思いますが、Sony Musicからメジャーデビューしている「フジファブリック」十六期生の山内総一郎君など、音楽界でも活躍している先輩がいることをお忘れなく。

築山伸治君のアルバム



山内総一郎君のアルバム



佐野勝君のアルバム

最後に調子に乗らせてもらって、私の「ギターコレクション」を掲載させていただき、この文章を閉じさせていただきます。

浦田S
ギタリー
コレクション



卒業生の皆様へ

入試広報部長 小山仁志 こやま ひとし

同窓会の皆様におかれましては、日々各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日ごろから本校の教育活動にお力添えを頂き、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症がなかなか収束に向かわない中、皆様方の中にも様々な影響を受けておられる方がおられるのではないかと。心よりお見舞い申し上げます。

さて、私たち入試広報部は、中学校や塾などへの訪問、様々な進学説明会などの機会をとらえて、本校の教育環境や生徒諸君の活躍などを広報しております。

昨年度も個別相談会の中で「私は金光大阪の卒業生で、うちの子どももぜひ通わせたいと思っている。」とおっしゃる保護者の方がたくさんお会いしました。卒業生に支持される学校、なんと素晴らしいことではないでしょうか。私まで誇らしく思えてまいりました。

毎年、一年生に対して、入学後すぐにアンケート調査を行います。その項目に「金光大阪をどのようにして知りましたか」という質問項目があります。その第二位は「親から聞いた」で20%ほどの生徒が答え、「友達から聞いた」「クラブ等の指導者から聞いた」が14%、「学校の先生から聞いた」が11%と続きます。

保護者の皆様が自分のお子様、金光大阪高校のことを「こんな学校があるのよ。」度見に行つておいで。」などと後押しをしていただいているのだと、改めてありがたく思いました。

同窓会の皆様には、中学受験や高校受験を控えておられるお子様やお知り合いの保護者の方々に、金光大阪高校のことをお伝えいただきたく、令和4年度入試に向けたチラシを同封させていただきますので、お声がけいただきますようお願い申し上げます。

また、本校の特待生制度につきましても掲載させていただきます。特に卒業された皆様のお子様が入学の際には減免制度がございますので併せてお知らせいたします。

(詳しくは、入試広報までお問い合わせください。)

今後の入試関係の行事

◎金光大阪中学校

・オープンスクール

7月11日(日) 9時30分～

8月28日(土) 9時30分～

・プレテスト

10月3日(日) 9時30分～

11月3日(祝) 9時30分～

12月5日(日) 9時30分～

◎金光大阪高等学校

・オープンスクール

8月21日(土) 9時30分～

10月16日(土) 14時～

金光大阪高等学校 学習特待生制度について

・個別相談会
12月18日(土) 9時30分～

種 類	内 容	学習特待基準	
		専 願	併 願
学習A特待	入学金全額(20万円)免除 +年間50万円を3年間支給	内申44以上または 入試で390点以上取れると見込まれるもの	内申45または 入試で420点以上取れると見込まれるもの
学習B特待	入学金全額(20万円)免除 +年間25万円を3年間支給	内申41以上または 入試で350点以上取れると見込まれるもの	内申43以上または 入試で380点以上取れると見込まれるもの
学習C特待	入学金全額(20万円)免除	内申36以上または 入試で300点以上取れると見込まれるもの	内申39以上または 入試で350点以上取れると見込まれるもの
学習D特待	入学金半額(10万円)免除	内申33以上または 入試で250点以上取れると見込まれるもの	内申36以上または 入試で300点以上取れると見込まれるもの

■入学金の半額減免制度

①入学志願者の兄弟姉妹が、

本学園の設置している学校に

在学中

②本学園の設置している学校

を卒業された方の子女が本

校へ入学の時

令和3年度 同窓会会計予算(案)

	摘 要	令和3年度予算(案)
	令和2年度より 繰越金	16,687,395
収入の部	32期生 終身会費(中学)	28,000
	38期生 終身会費(高校)	1,255,000
	預金利子	1,000
	収入合計	1,284,000
	繰越金・収入総合計	17,971,395
支出の部	会誌印刷・郵送代	2,500,000
	同窓会HP管理・維持費	500,000
	同窓会総会費	500,000
	会報等取材費	300,000
	事務費	500,000
	弔慰金	50,000
	雑費・予備費	13,621,395
	合計	17,971,395

令和2年度 同窓会会計決算報告

	摘 要	令和2年度決算
	令和元年度より 繰越金	17,461,607
収入の部	31期生 終身会費(中学)	54,000
	37期生 終身会費(高校)	1,590,000
	雑収入	10,000
	利子	24
	合計	19,115,631
支出の部	会報「光輝」印刷代	460,790
	会報宛名台紙印刷・封筒・封入・発送代	890,206
	全校生徒・教職員へマスク寄贈	987,580
	同窓会HPメンテナンス・維持費	55,6600
	弔慰金	33,000
	合計	2,428,236
	R3年度へ 繰越金	16,687,395
	定期預金残高	4,885,871

会計 小澤 直美

会計 濱田 幸美

令和2年度決算は、以上の通り相違ありません。

会計監査 阿知波 善之

頑張れ!!
卒業生!!

阪急高槻駅からすぐ 「立呑旬鮮 すーさん」



金光大阪高等学校19期卒業の和田健太郎です。
在学中は野球部に所属していました。
昨年引退したばかりの元中日の吉見投手と共に、
私は主将として甲子園にも出場することが
できました。

今となっては、大変良い思い出になっています。
現在、阪急高槻駅のすぐ近くで居酒屋をしています。
一番のおススメは魚料理です。
皆さん高槻にお越しの際は、是非、一度お越しください。
お待ちしております。



立呑旬鮮 すーさん

高槻市城北町2-2-1 小路ビル1F
営業時間：月～土 16時～22時
定休日：日曜日
(営業時間定休日は変更する場合があります。
ご来店前にご確認ください)

連絡先

☎090-7887-5297





studio in the lily

スタジオ インザリリー
yoga, personal gym, aroma, rental space



いとう さとし
金光大阪 21 期生の伊藤聡と申します。

部活には入部してなかったですが、サッカーを外部で行っておりました。

今現在高槻市富田町でヨガ / ピラティス、パーソナルジム、アロマエステ、レンタルスペースを中心とした複合型トレーニング、リラクゼーション施設を運営しております。

in the lily の由来は、現実的で疲れがちな日常を一度リセットし、

純粋で純白な自分に立ち返るための理想的な居場所で

あって欲しいという想いから名付けました。

頑張らないといけない自宅や職場では理想通りには

いかないけれど、in the lily にいけば自分がなりたい

憧れに少し近づけるような気がする。

そんなココロとともに

スタジオでは床暖房完備の常温環境下で行うヨガ・ピラティスの少人数制スタジオです。

通常のヨガ・ピラティス以外にも話題のエアリアルヨガや大阪では珍しい

ウェーブリングヨガ、インサイドフローヨガ等のレッスンもお楽しみ頂けます。

子育て中のママにも優しいママヨガ、保育士が在中する託児ヨガのクラスも。

お子様には、キッズヨガ、キッズダンス、キッズエアリアルヨガ。

スタジオインザリリーのレッスンはお子様からシニアまで幅広い年代までご参加できます。

そのほか、パーソナルジムではダイエットやボディメイク、健康維持や免疫力向上など一人一人に合ったプランを提供致します。

エステではアロマエステや、妊活、冷え性、リフレッシュ等に効果がある最近話題のよもぎ蒸しをサービス提供しております。

高槻市では数少ないキッチン付きのレンタルスペースもございます。

ママ友同士で集まりお茶をしたり、

女子会や職場の仲間での飲み会や

たこ焼きパーティー、冬場は鍋、企業様の

撮影等様々な使用が可能です。



studio in the lily

〒569-0814

大阪府高槻市富田町1丁目12-3 みなとビル3階

営業時間 9:00 ~ 22:00

連絡先

☎072-668-4952

✉studio.in.the.lily@gmail.com

スタジオレッスン
初回体験1000円
(1レッスンのみ)

レンタルスペース
10%割引
(1回のみ)



役員紹介

4期生 岡本 茂美

同窓会会員の皆様におかれましては益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

同窓会副会長を務めさせて頂いております4期生の岡本茂美(旧姓大橋)です。

平成26年12月に開催されました「同窓会発足30周年記念祝賀会」のスタッフとして参加し、そのご縁で同窓会の役員となりました。

私は学生時代、サッカー部のマネージャーをしていましたが、マネージャーの仕事は監督や部員たちを支えるとてもやりがいのあるものでした。当時のサッカー部は、部員の人数も少なく練習試合のために11人揃えるのが大変な状況でした。

現在のサッカー部の100人を超える部員数が羨ましくもあり、誇らしくもあります。

現在はコロナ禍のため中止していますが、毎年12月30日には金光大阪グラウンドにて現役部員と一緒にOBたちも参加し、サッカー部の蹴り納めを行っています。OB会でフランクフルトの屋台も出していますので、コロナが終息し蹴り納めが再開した時には、OBの皆さんのご参加をお待ちしています。

当時、化学を西村先生(現校長)、現国を石塚先生、保健体育を津本先生、岩松先生、日本史を志津先生にお世話になり、他にもお世話になった先生方が今も変わらず学校にいらついています。保健室の羽田先生もいつも素敵な笑顔で迎えて下さいます。卒業してから30数年が経ちましたが、思い出がたくさん詰まった母校のためにお役に立てるよう同窓会会長はじめ、同窓会役員の方たちと活動を行っていきたいと思っていますので、これからも温かいご支援とご協力をお願い致します。



編集後記

令和元年10月3日、本校の「宗教」の授業で少しお話しする機会がありました。母校に久しぶりに来た印象は、生徒さんの挨拶でした。すれ違う度に元気に挨拶をしてくれました。

コロナ禍で、挨拶1つを直接することも以前より減りましたが、どれだけ人を元気にし、元気にさせられるのか？コミュニケーションを取る中でどれだけ大切だったのか考えさせられました。

思い返すと、金光時代の思い出には、先生・友達・先輩・後輩の存在があります。嬉しい時は一緒に喜べる相手がほしい。嫌なことがあった時は、聞いてくれる相手がほしい。一緒に居て居心地がいい人が欲しかった。間違えた事をした時は、それは違うと実は、言ってくれる相手が欲しかった。これは、大人になった今も変わりありません。

最近のリモートでのやりとりが増え、始めは便利だと思っていました。直接「人」に会い、話し、聞くことを愛おしく思います。

(高島)